



いよいよ学年最後の月を迎えました。

3月は、一年間のまとめの時期でもあり、新しいスタートへの準備の季節でもあります。それぞれの子どもが、この一年を振り返り、満足感とちょっぴり悲しさ悔しさを味わいながら成長していきます。

6年生はまもなく卒業式を迎えます。廊下ですれ違うとき、私の背を追い越した子どもが多くなり、とても大きくなったなあ実感しています。個人差はありますが、この6年間で、身長が30cm以上伸びています。頼もしくなりました。しかし、体と心の成長が一致しているとは限りません。子どもたちはまだまだ未熟な部分があると思います。大人の私たちは、未熟な面を見守りながら、できるようになったことをしっかり認めて励ましていくことが大切だと考えています。

「あたりまえ」だけとても大切なこと ～子どものためのルールブック～ より

著者のロン・クラーク氏は、アメリカで「全米最優秀教師賞」を授与された、もっとも人気の高い小学校教師です。手がつけられない混乱に陥っているクラスを、努力の結果みるみる再生させました。彼の指導を受けて一年後、それまで最低だった成績も、州のトップに躍り出るまでになったそうです。その方法とは…。著書の中で、50のルールを身に付けさせることだと紹介しています。その一部を紹介します。

大人の質問には礼儀正しく答えよう。「はい、そうです。」とか「いいえ、ちがいます。」

ただうなずくだけではだめだし、乱暴な答え方もいけない。

相手の目を見て話そう。相手に自分の言い分を聞いてもらいたいときは、相手の目を見るアイコンタクトが重要なポイントになる。

人に何かをしてもらった時には、三秒以内に「ありがとう」を言おう。

先生に挨拶をしよう。たとえば、「おはようございます、先生。」のように。

一見「奇跡」とも思えるような結果を生み出した教育の土台をなしているのは、子ども達にごく普通の生活ルールをしっかりと守らせることでした。あたりまえのことをあたりまえにすることが、教育の原点であることを教えてくれているのです。

このことは、学校だけでなく、各ご家庭でも通じることだと思います。日々の生活に規律が生れ、自尊感情が芽生えれば、子どもが本来持っているはずの健全な好奇心が、勉学への意欲にもつながるということです。子どもはみんな多くの可能性

を秘めているのですから。

メール配信ができるようになりました

昨年からの懸案であった緊急時のメール配信ができるようになりました。導入決定までには、アンケートをとったり、個人情報の観点から管理が厳重な方法を調べたりして、十分検討を重ねてまいりました。PTA役員・学年委員の方々のご尽力のおかげです。これからは、緊急事態が起こった場合に情報を少しでも早く各ご家庭に伝えることができるものと考えています。ご家庭(希望の)からのメール登録を受け、登録が完了したご家庭には、学校からお知らせをしております。残り2割程度のご家庭が済んでいませんのでお急ぎください。ただし、今後も今まで通り、プリントや緊急連絡網を使った連絡も行いますのでご協力をよろしく願います。

給食献立一部中止の返金について

2月18日のハヤシライスが提供できなかった分については、3月の給食費から82円減額して徴収いたします。3月分の給食費のお知らせプリントをお配りしておりますので、ご確認ください。大変ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。当然のことをさせていただけなのですが、保護者の方から以下のような温かいお手紙をいただき嬉しく思っております。

先日は、包丁が少し欠けていると分かったために、給食の内容を変更したと聞いて驚きました。すでに、その日の給食は出来上がっていたとのこと。すべてを処分するとご判断なさったときの校長先生や給食の先生方のお気持ちを考えると、胸が痛くなりました。そして、子どもたちの安全を何よりも考えてくださっている先生方に感謝の気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございました。

3月の主な行事

日	曜	行 事
3	火	全校朝会 お別れ集会
12	木	卒業式総合練習 5・6校時
16	月	6年修了式 卒業式準備 (5年生)
17	火	第55回卒業証書授与式
19	木	大掃除 5校時
20	金	春分の日
23	月	給食終了
24	火	修了式
3月25日(水)～4月5日(日)春休み		
4月6日(月) 21年度 1学期始業式 (文責 教頭 海老井陽子)		